

平成26年度新潟大学大学間交流協定校
交換留学プログラム第一期募集要項
アンカラ大学 Ankara University（トルコ）

本募集要項は、本学の大学間交流協定校である、トルコ・アンカラ大学（Ankara University、以下「アンカラ大学」という。）への交換留学を希望する学生の募集について定めるものである。

アンカラ大学への交換留学プログラムについては、毎年度2回の募集を行っており、本募集は第一回目にあたる。第二回目の募集は、今年度の10～11月頃に行われる予定である。

なお、アンカラ大学及びトルコ国の事情により、以下の情報は、予告なく変更となる場合がある。

1. 交換留学の期間及び身分

- (1) 留学期間は、平成27年2月から、1学期間または2学期間とする。
- (2) 交換留学生の本学での在籍身分は「留学」であり、休学による派遣は認められない。アンカラ大学においては、学位の取得を目的としない学生として取り扱われる。

2. 募集人数

4名

3. 応募資格

指導教員が応募者を推薦するに当たっては、本学の正規課程に在籍する学生で、以下(1)～(5)に定める条件を、全て満たした者とする。

- (1) 本学の正規学部生、及び正規大学院生（但し、大学院生（現地の大学院へ留学する場合）、及び外国籍を有する学生については、条件が異なる場合があるため、応募前に必ず国際課へ問い合わせること）
- (2) 学業成績及び人格などに優れている者
- (3) 留学の目的及び計画が明確で、プログラムへの参加が、教育上有益と認められる者
- (4) 留学に必要な査証（ビザ）が確実に取得でき、指定された期間に渡航可能な者
- (5) プログラム終了後、本学に戻り学業を継続する者、または本学の学位を取得する者

4. 語学要件

(1) 学部生…現在のところ、アンカラ大学が定める語学要件はない。但し、英語による授業を履修する際は、英語力が受講要件となる場合がある。このため、学内選考においては、トルコ語の学習歴は問わないが、英語力は考慮される。

(2) 大学院生…現地の大学院へ留学する場合は、専攻によって要件が異なる場合があるため、応募前に必ず国際課へ問い合わせること。

5. 事前説明会

本交換留学プログラムの事前説明会を、下記の日程で行う。応募を検討する学生は、必ずいずれかの日程に参加すること。

○日時：平成26年6月16日（月）および6月17日（火） 11:55～12:45

○場所：五十嵐キャンパス 総合教育研究棟 D301会議室

※内容は、両日とも同様である。

6. 応募方法

本交換留学プログラムに応募する者は、事前説明会に必ず出席の上、以下（1）～（7）の書類を、提出期限までに国際課へ提出すること。なお、面接日時及び場所などについては、追って通知される。

<応募書類>

（1） 大学間交流協定校交換留学プログラム共通申請書（様式1，和文）

…タイプ可，但しフォーマットやページ数は変更しないこと。

（2） 所属学部の指導教員推薦書（様式2，和文または英文） ※注1

…タイプ可，ページ数指定なし。

（3） 在学証明書（日英併記，1部）

（4） 直近の成績証明書（和文・英文 各1部） ※注2

（5） 交換留学志望理由書（様式自由，和文）

…タイプ可，1,000字以内（A4用紙使用のこと）

（6） 英語能力試験証明書の写し（有する場合のみ）

（7） 平成26年度1学期のスケジュール（様式3（エクセル様式），メールで提出）

▶ 様式ダウンロード ※上記（1）（2）（7）：<http://www.niigata-u.ac.jp/intl/kaigai/koukan.html>

（※注1）指導教員を持たない場合は，学年担当教員からの推薦書を提出すること。

（※注2）現学部1年生については，提出を不要とする。

<提出期限>

平成26年6月27日（金）17:00 ※締切厳守

<提出宛先>

学務部国際課 海外留学担当

※上記（7）のみ，電子メールで提出すること。

▶ メール宛先：studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp

なお，郵送で提出する場合は，提出期限必着となるよう送付すること。

▶ 郵送宛先：〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050

新潟大学 学務部国際課

海外留学担当

7. 選考方法

選考は次の（１）及び（２）により行う。

（１）一次選考（書類審査）

（２）二次選考（面接審査）

評価は、学業成績、留学の目的及び志望理由、適応力、学習能力、計画性などにより、総合的に行われる。（100点満点中、学業成績を50点、その他の項目を50点の配点とする。）

なお、現学部1年生については、学内選抜の時点では成績証明書が発行されないため、面接審査の点数を2倍とし、選考結果を算出する。

8. 選考の順位

3に記載する応募資格を満たした者を採用するが、応募数が2に記載する募集人数を上回った場合は、選考結果の点数が高い者から順に合格とする。

9. 選考結果

選考結果は、面接試験終了後10日以内を目途に、国際課から所属部局長経由で通知する。結果については、次のように通知される。

（１）合格…学内選考の結果、アンカラ大学への出願資格を満たすと判断された者を、合格と見なす。なお、合格者を本学の交換留学生としてアンカラ大学へ申請するが、最終的な入学の可否については、アンカラ大学の判断に基づく。

（２）補欠合格…応募数が2に記載する募集人数を上回った場合は、合格者の次点の者を、補欠合格と見なす。補欠合格者は、合格者が辞退した場合など、欠員に応じて繰り上げ合格とする。なお、補欠合格の有効期限は、平成26年10月31日（金）とする。

10. 選考後の手続きについて

選考に合格した者は、国際課が別途指定する期限までに、アンカラ大学への出願書類を提出しなければならない。出願後、アンカラ大学からの最終的な入学許可を得た時点で、交換留学候補生と見なす。なお、最終的な入学の可否については、アンカラ大学の判断に基づく。

留学手続きについては、国際課がサポートするが、各自の責任の下で行う。また、国際課が実施する渡航前オリエンテーション（複数回）には、必ず参加すること。

なお、大使館査証部（ビザセクション）のストライキや、その他予期せぬトラブルなどにより、アンカラ大学が定める期間までに渡航できない場合がある。このようなやむを得ない事情により、留学を延期、または中止しなければならない場合の責任は、本学は一切負わない。

なお、留学手続きの方法やオリエンテーションの案内などについては、全て学務情報システムのメールアドレスへ通知される。

11. 単位の認定

（１）アンカラ大学で取得した単位は、所属学部または研究科の定めるところにより、単位の認定を申請することができる。但し、詳細については、必ず所属する学部などで各自確認すること。

（2）留学期間は、本学の卒業に必要な在学期間として算入できる。

12. 費用について

本交換留学プログラムによる派遣生は、以下の費用を負担しなければならない。

- （1） 本学の授業料（アンカラ大学での授業料は、協定に基づき免除される）
- （2） 留学の準備にかかる費用（査証（ビザ）申請料など）
- （3） アンカラ大学と自宅間の交通費，トルコ国での交通費
- （4） アンカラ大学における宿舍費，食費，その他の生活費
- （5） アンカラ大学における履修科目の教材費など
- （6） アンカラ大学またはトルコ国で加入が義務づけられている留学生保険料，及び個人が任意で加入する場合の海外旅行保険料
- （7） その他，留学に関わる費用

13. 奨学金について

本交換留学プログラムによる派遣生は、給付型奨学金として、①独立行政法人日本学生支援機構平成26年度海外留学支援制度（短期派遣）（双方向協定型）、又は②新潟大学国際交流基金「外国へ留学する学生への奨学事業」に申請することができる。希望者は、本応募とは別に申請する必要がある。

なお、貸与型奨学金制度（返還義務があるもの）については、日本学生支援機構の第二種奨学金（短期留学）がある。こちらについては、学生支援課奨学支援係（五十嵐キャンパス・総合教育研究棟1F ①窓口）TEL:025-262-7337）に問い合わせること。

14. 本プログラムについての問い合わせ先

新潟大学国際課（五十嵐キャンパス総合教育研究棟D棟3階）海外留学担当

メール：studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp / 電話：025-262-7631

トルコ・アンカラ大学
ファクトシート (別表)

本ファクトシートは、本学の大学間協定校である、トルコ・アンカラ大学 (Ankara University, 以下「アンカラ大学」という。) に関連する情報を取りまとめたものである。

なお、アンカラ大学及びトルコ国の事情により、以下の情報は、予告なく変更となる場合がある。

※表内の費用は、「1 トルコリラ=49.3 円, 1 米ドル=101.91 円 (2014 年 6 月現在の換算レート)」として算出。

A) 大学名 :	アンカラ大学 (英語名 : Ankara University)
B) ホームページ :	http://en.ankara.edu.tr/ (英語)
C) 授業暦 :	◆春学期 : 2015 年 2 月～2015 年 5 月 ◆秋学期 : 2015 年 9 月～2016 年 1 月
D) 履修科目 :	<p>・交換留学生 (学部生) は、下記 (1) (2) より、希望する授業を組み合わせることで履修することができる。但し、大学院生が履修できる科目については、別途国際課へ問い合わせること。</p> <p>(1) アンカラ大学附属のトルコ語学校 (TÖMER という。) …TÖMER はトルコ語を学ぶための大学付属機関であり、交換留学生は無料で履修できる。授業は完全にトルコ語で行われ、英語などによる解説は行われない。短期間で集中的に学ぶ 1 か月コースと、2 か月コースがあるが、詳細は現地到着後に案内される。</p> <p>(2) 英語履修科目…学部によっては、一部の授業を英語で提供している。英語履修科目を提供しているのは、現在のところ Faculty of Political Sciences および Faculty of Education である。なお、これら英語科目を提供する学部は予告なく変更となる場合があり、最終的に英語履修科目が提供されない可能性がある点に留意すること。</p>
E) 学生寮 :	<p>・交換留学生は、原則として学生寮に入寮する。</p> <p>・学生寮は複数あり、建物や部屋のタイプが異なるが、必ずしも希望通りの寮に入寮できるとは限らない。</p> <p> ▶ 寮の基本情報 (英語) : http://iso.en.ankara.edu.tr/?page_id=1171</p> <p> <寮費の目安 (過去実績に基づく) ></p> <p> ○ 1 学期間 : 約 625 ドル (=約 63,694 円)</p> <p> ○ 2 学期間 : 約 1,250 ドル (=約 127,388 円)</p> <p> ※寮や部屋のタイプによって料金は変動する。なお、寮費に食費は含まれない。この他、学期間の休暇 (セメスターブレイク) に寮へ滞在する場合は、1 か月あたり約 125 ドル (=約 12,739 円) が発生する。</p>
F) 査証 (ビザ) :	<p>・交換留学生は、渡航前までに査証 (ビザ) を取得する必要がある。申請は、国際課より案内があった時点で、各自責任を持って行う。</p> <p>・2014 年 5 月現在の申請料は 4,200 円。なお、申請は東京にあるトルコ大使館で</p>

	行う。申請料や交通費など、査証取得にかかる費用については、全て各自が負担する。																		
G) 医療保険 :	<p>査証 (ビザ) 取得の条件として、交換留学生は原則として、「アンカラ大学が指定する医療保険」に入らなければならない。</p> <p><保険料の目安></p> <p>○100 リラ (=約 4,930 円) ~250 リラ (=約 12,325 円) 程度</p> <p>※保険料は契約期間によって異なり、詳細は現地到着後に案内される。</p> <p>・上記の他、本学では、日本の保険会社の医療保険に別途加入することを勧めている。なお、詳細については、渡航前に国際課から説明がある。</p>																		
H) その他 :	<p>日本国外務省では、渡航前に A 型肝炎・B 型肝炎, ポリオ (3 回目), 狂犬病, 破傷風の予防接種を受けることを推奨している。詳細については、新潟市「海外渡航者等予防接種室」へ問い合わせること。</p> <p>▶ 海外渡航者等予防接種室</p> <p>https://www.city.niigata.lg.jp/iryo/kenko/yobou_kansen/22yobousesshu/yobousesshuroom.html</p>																		
I) 留学費用 :	<p>授業料は新潟大学に納入するため、アンカラ大学での授業料は免除される。その他の費用については、募集要項 1 2 に記載のとおり、全て各自で負担する。</p> <p><留学費用の目安 (円換算) ></p> <p>○ 1 学期間 : 約 226,813 円</p> <p>○ 2 学期間 : 約 453,625 円</p> <p>▶ 上記金額は、下記の計算に基づく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>1 学期間</th> <th>2 学期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○学生寮</td> <td>¥50,955</td> <td>¥114,649</td> </tr> <tr> <td>○食費</td> <td>¥76,415</td> <td>¥137,547</td> </tr> <tr> <td>○留学生保険加入料</td> <td>¥9,860</td> <td>¥12,325</td> </tr> <tr> <td>○査証 (ビザ) 申請料</td> <td>¥4,200</td> <td>¥4,200</td> </tr> <tr> <td>合計 (目安)</td> <td>¥141,430</td> <td>¥268,721</td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は、最低限の目安である。為替レートの影響や、アンカラ大学及びトルコ国の事情などにより変動する可能性があるため、応募前に必ず保護者と相談し、十分な資金計画を行うこと。なお、上記表の項目に含まれない事項 (学期間の休暇中 (セメスターブレイク) に寮へ滞在する場合の費用、査証取得にかかるその他の費用、予防接種を受ける場合の費用、アンカラ大学と自宅間の交通費、トルコ国での交通費、アンカラ大学における履修科目の教材費、有効な旅券 (パスポート) を持たない場合の旅券申請費用、個人が任意で加入する海外旅行保険、個人の小遣い、その他留学に関わる費用など) は、別途必要となる。</p>	項目	1 学期間	2 学期間	○学生寮	¥50,955	¥114,649	○食費	¥76,415	¥137,547	○留学生保険加入料	¥9,860	¥12,325	○査証 (ビザ) 申請料	¥4,200	¥4,200	合計 (目安)	¥141,430	¥268,721
項目	1 学期間	2 学期間																	
○学生寮	¥50,955	¥114,649																	
○食費	¥76,415	¥137,547																	
○留学生保険加入料	¥9,860	¥12,325																	
○査証 (ビザ) 申請料	¥4,200	¥4,200																	
合計 (目安)	¥141,430	¥268,721																	
J) 参考情報 :	<p>◆ 留学体験談 : http://www.niigata-u.ac.jp/intl/kaigai/taiken.html</p> <p>◆ 2013 年留学生からの情報 (抜粋) :</p>																		

※情報は年々変わるため、あくまで参考とすること。

<学生寮>

・3人部屋ですが、各人にシステムデスク、収納、ベッドが割り当てられます。小型の冷蔵庫と下駄箱も備わっています。部屋も大きく、個人のスペースは十分に確保できます。キッチン、トイレ、シャワールームは共用です。

・インターネットは無線 LAN です。日と時間帯によって回線速度が大きく変わり、54Mbps から 2Mbps まで。使えないときには全く使えません。使用には ID とパスワードが必要ですが、私の場合は事前に準備してもらっていました。

・洗濯場があり、洗濯物と洗剤を持参することでお願いできます。乾燥までしてもらえます。

・24 時までには寮に帰ることが望ましいとされますが、留学生には特に注意することはないようです。

・寮は留学生のみではなくアンカラ大学のトルコ人も住んでいます。基本的には留学生は留学生同士まとめるようです。完全な留学生寮ではないため、警備員、事務員、掲示まですべてトルコ語です。また、英語を理解できる学生は少なく、話せる学生となるとかなり限られます。また、創価大学等日本人留学生も数名います。

・寮内禁酒です。外でお酒を飲んで帰る分には問題ありません。

<生活>

・水道水は飲めません。食堂で水差しを出された場合は、ペットボトルの水を注文する方が無難です。

・食料品は非常に安価です。食費の心配はほとんど必要ありません。反面、タバコや酒類は日本よりも高価です。

・多くのものはトルコでも購入できますが、電子機器は極めて高価です。

・食費、交通費がほとんどかからないので、普通に生活する分には生活費の心配はないと思います。基本的には一食 3~5TL で、10TL (約 500 円) あれば良い料理が食べられます。また、スイミットやポアチャと呼ばれるパンは 3 つで 1 TL とかなり安価で、どこでも買える上にとってもおいしいです。

・野犬が多く、大型です。キャンパス内にもいます。狂犬病の心配もありますので、近付かない方が良いでしょう。

<交通>

・移動手段は基本的にバスになると思います。距離に関係なく、区間内一律 1.25TL です。電車や乗り合いの小型バスもあります。急発進急停車が多く、乗り心地はあまりよくありませんが、慣れてくれば好きなところで降ろしてもらえますようになります。また、約 1 時間の間 1.25TL で電車とバスを何度も乗り降りできる回数券もあります。

・交通環境はかなり危険です。基本的には車が優先され、市街地以外では歩行者用の信号や横断歩道はほとんどありません。タイミングを見計らって横断するこ

とになります。実際、毎日多くの人身事故が発生しているようです。

<授業面>

・アンカラ大学附属のトルコ語学校にてトルコ語を学習できます。授業は平日の午前中。毎日宿題が課されます。

・授業は1カ月で1つのコースとなり、全12コースあります。欠席が多いと次のコースに進めません。

・授業は完全にトルコ語で行われます。新しい文法や言い回しに関しても英語での解説などは一切ありません。

・トルコ語学校で教科書も配られますが全てトルコ語で書かれているため、日本語のトルコ語教科書を用意するといいいと思います。また、授業はトルコ語で行われるので、日本で少し勉強していくと良いかもしれません。

・生徒は日本人以外に多様な国籍が集まっています。彼らは留学生なので英語でコミュニケーションを取れます。

<大学>

・キャンパスがたくさんあります。また、キャンパス毎に警備体制が多少異なります。

・基本的に大学が24時間開かれていることはありません。8:30~18:00(早い所は17:00)の間のみ玄関が開いています。遅くまで大学に残っている人はほとんど見かけません。鍵を持っていないと外に出ることもできなくなります(一度閉じ込められました)。私は研究が主目的だったため、交渉して鍵をもらうことが出来ました。

<文化・習慣>

・日本人に好意的で、よく話しかけてきます。学生に至るまで、ほとんどのトルコ人は英語を話せません。言葉が通じなくてもコミュニケーションを取ろうとしてくるので、トルコ語の辞書を片手に何か話すと喜びます。

・人付き合いの距離が近く、毎日遊ぶくらい仲が良かったり、急に喧嘩したりします。握手に始まり、抱きつく、とにかく体を触る、メールや電話の頻度など距離感の違いに戸惑うこともあるかもしれませんが、基本的に親切です。

・トルコ人は文化や宗教に強い興味を示してきます。日本について勉強しておくと、話に花が咲きます。